



場所: 静内川 撮影: 中村 美鈴

こだま

VOL.27 March, 2016

Contents

- ① 看護研究
- ② 精神科デイケア
- ③ クスリの豆知識
- ④ 訪問介護事業所

静和会石井病院 病院理念

- 医療の本質を追求し、科学的、創造的かつ主体性のある医療を目指します。
- 「思いやり」「いたわり」「優しさ」を常に忘れず、豊かな人間性で患者さんの主体性を尊重した医療を実践します。
- 保健、医療、福祉との連携を密にし、地域住民に愛され信頼される医療チームを構築します。
- ノーマライゼーションの視点に立ち、社会のニーズに応じた医療を提供します。



看護研究

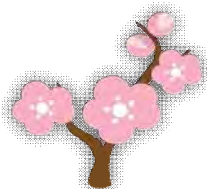
「看護研究」とは

副院長・看護部長 石川 順子

一般の方々にとって「看護研究」という言葉はあまり聞きなれないかもしれませんが、私たちが看護師にとってはとても大切なものです。看護を研究するということは、日々の看護を見つめ、より良い看護を提供するための理論や知識を得て、それを看護師同士が共通認識して、実際の看護に役立て、看護の質を高めていく学問だからです。

当院では以前から、病棟ごとに看護研究を行い、その成果を院内の看護研究発表会で報告してきましたが、数年前からは介護福祉士による介護研究もおこなわれてきています。また、近年は研究の内容も深みを増し、院内発表だけでなくとどまらず、全道や全国規模の看護研究学会に発表できる機会をも与えていただいています。

今回掲載しております発表も、今年の6月に札幌で開催される北海道看護研究学会で発表するなかの一題ですが、一足お先に皆様にご覧いただけます。



看護研究発表テーマ

「カーテン使用時の思い」



本研究の題名は、精神科病棟で間仕切りカーテンを閉めている時の患者さまが持つ看護師への思いです。

普段の業務の中で、昼夜を問わずカーテンを閉めている患者さまがおり、私たちはカーテンを閉めている患者さまにカーテンを開けてまで声をかけていいのか、時間を変えて関わることがあるのではないかと対応に悩むことがあります。そのため、カーテンを閉めている患者さまは看護師にどうしてほしいと思っているのかを明らかにすることを目的とし、同意を得られた入院患者さま30名を対象にアンケートとインタビュー調査を行いました。

その結果、患者さまがカーテンを使用する理由としては「プライバシーを守りたい」という意見が55.2%で一番多く、カーテンを閉めている時、看護師にどのような対応をしてほしいかという質問では、「話しかけて欲しい」という意見が44.8%にのぼり、次いで

「挨拶程度の声を掛けてほしい」、
「一人にしておいてほしい」が27.6%でした。インタビューは協力を得られた10人の患者さまを対象に実施。インタビュー内容を分析した結果、看護師に求めることで「気にかけてほしい」と思う患者さまが多く、「もっとしてほしい」と思う患者さまは実際には少ないことがわかりました。

以下はこの研究の結論(原文)です。

1、精神科の患者さまもカーテンを使用している理由はプライバシーの保護が最も多く、他の診療科の患者さまと変わらない。

2、精神科病棟にはカーテンを使用している時も看護師と話をしたり、そばに居てほしいと思っている患者さまが多い。

3、看護師と話をしたい、そばに居てほしいと思っている患者さまの中でも看護師へ望んでいることには「一言声をかけて欲しい」「頼りたい」「一人になりたくない」など個人差がある。

4、精神疾患患者さまは言動と意思表示が違うことがある。

今回の研究では、カーテンを閉めていても看護師に対し「気にかけてほしい」「声をかけてほしい」と思っている患者さまは多いが、「(カーテンを閉めている時は)そっとしておいてほしい」という意見を持つ患者さまもおり、看護師に望む対応には個人差があることがわかりました。今回明らかになった事を念頭に置き、今後看護の場に生かしていきたいと思っております。最後になりましたが、本研究にご協力いただいた皆様、ご協力ありがとうございました。

4 病棟 看護師

渡辺 誠

三橋 広翼

水上 裕香倫



精神科

デイケアのご案内

精神保健福祉士

成田 智弘

精神科デイケアは、外来診療と並行して行われる精神科リハビリテーションの一種です。病気を持った仲間が集まり、人と人とが触れ合う様々な体験を通して人付き合いに慣れていくことや、自分の気持ちを表現する体験をしながら自分を見つめ、目標とする自分になっていく練習の場所です。就労継続支援事業所などに通いながらデイケアに参加している患者さまも沢山います。参加者の年齢は20代〜70代と幅広くなっています。そのため当院のデイケアではプログラムを目的別に、若年者層と高齢者層に分けて提供しています。精神科デイケアで行われるプログラムに必要な事は、すべての活動の中に精神科リハビリテーションの要素が含まれている事にあります。この要素を取り入れるには、精神科デイケアに携

わる私たちスタッフが専門的な視点を意識する事が重要になります。デイケアで過ごす時間を楽しむことや居場所としてデイケアで癒される時間を過ごす事に加え、平成27年度からは様々な専門的な視点を意識したデイケア運営を行っております。次回はその中身について一部説明していききたいと思います。

★薬の豆知識★



薬の飲み合わせについては、昨今テレビや雑誌などで取り上げられる機会も多くなっています。今回は、その中でも代表的なものについて簡単にお話したいと思います。まず『降圧薬とグレープフルーツ』です。グレープフルーツには、薬を体から出す酵素を邪魔する成分が含まれていますので、一緒に食べると薬が体から出ていきにくくなり、結果として薬の効きが強くなってしまいます。また逆に『抗生物質と牛乳』は、カルシウムなどが薬の成分と結合してしまい、腸から薬を吸収しにくくなるために効果が弱くなってしまいます。ほかにも『ワーファリンと納豆・クロレラ』や『風邪薬とコーヒー』、『胃薬と炭酸飲料』など、薬によってもいろいろあります。今自分が飲まれている薬について気になることがあれば、この機会に一度相談してみるのもいいかもしれませんね。

薬剤師 戸苅 健登



※デイケア室の風景



石井病院内事業所紹介コーナー

パート①

石井病院内にある事業所を紹介させていただきます。

今回は、訪問介護事業所です。訪問介護事業所では、どのようなお仕事をしてお患者さまと接しているかを聞いてみました。



訪問介護事業所

介護福祉士 三浦 文恵

訪問介護事業所では、利用者さまのお宅へ訪問させていただき、掃除・洗濯・調理等の家事援助を自立に向けて利用者さまと一緒にやってまいります。

訪問時間とサービス内容は予め、利用者さまやご家族の方及び関係者で話し合い決められ、私たち、訪問介護員はその計画に沿ってサービスを提供します。

現在、7名の明るく元気な訪問介護員がいて、毎朝ミーティングを行い注意事項を把握し、それぞれが利用者さま宅へ訪問しています。訪問中には、会話・言葉づかい・表情等に気を付けながら信頼関係が築けるように努力しています。私達は利用者さまの声を大切にし、介護員の訪問を楽しみにしていただけられるように日々、取り組んでいます。

精神科外来

受付時間		月	火	水	木	金	土
午前	8:45~12:00	臼井	松野	林	松野	林	休診
午後	13:30~15:00	臼井	松野	臼井	休診	林	休診

もの忘れ外来

※3月中は木曜午後休診です。

水曜日午前 8:45~3:00	※予約制となっております。	臼井
-----------------	---------------	----

内科外来

午後 1:30~3:00	第2・第4木曜日	石井 幸司
--------------	----------	-------

編集／発行 平成 28 年 3 月 15 日発行

医療法人社団 静和会 石井病院 編集委員会

〒056-0022 日高郡新ひだか町静内高砂町 3 丁目3-1

TEL(0146)42-3031 FAX(0146)43-3389

ホームページ: <http://www.ishii-hp.jp/>

編集委員長 藤巻 剛

編集後記

春も着々と近づいてきていますがみなさん体調はいかがですか。「こだま」も今年度最後の発行となりました。編集委員長としての1年間は、石井病院のいろいろなことを皆さんに知ってほしいという思いで作ってきました。これからもご愛読いただけたら光栄です。今後の「こだま」に期待してください。1年間ありがとうございました。

こだま編集委員長 藤巻 剛